

「水辺の生きものの調査の現地研修会」を開催しました！

■こどもによる水辺の生きものの調査の実施に向け、指導者を対象に現地研修会を開催しました！

【概要】

令和 8 年 8 月 7 日(金)に環境省主催で「水辺の生きものの調査の現地研修会」を開催しました。

本研修会は、こどもによる水辺の生きものの調査の実施に向けた指導者を対象とし、フィールド実習では、東京都東久留米市を流れる落合川において、水質調査や環境調査、生物調査等に関する実習を行いました。また、屋内では生物同定・評価を行い、調査実施にあたって必要な事前準備や安全対策等の講義を実施しました。

【フィールド実習】

- ・フィールド実習の目的を東京学芸大学の吉富先生、ライフジャケットの使用方法を含む安全管理を川に学ぶ体験活動協議会の佐藤氏からご説明いただきました。また、新河岸水系水環境連絡会の菅谷氏や東久留米川クラブの荒井氏から落合川についてご紹介いただきました。
- ・フィールド実習では、透視度計や COD パックテストを用いた水質調査、スーパーボールを使った流速測定、水位計を用いた水深測定を行いました。また、たも網を用いた生物採捕を行いました。



フィールド実習の説明



スーパーボールを使った
流速測定の様子



生物採捕の様子

【生物同定+講義】

- ・生物同定をじっくり 1 時間程度実施しました。全国水生生物調査の集計票の記入も行いました。



ヒラタドロムシ



カワニナ



コオニヤンマ(ヤゴ)

落合川に生息している生きもの

- ・水辺の生きものの調査に関する事前準備、当日作業、安全対策等について、事務局からの説明に加えて講師を担当いただいた吉富先生、佐藤氏や菅谷氏から講義いただきました。
- ・「こどもたちに水辺での体験活動を増やすための工夫・課題」のお題で意見交換を行い、参加者の方から「生物採捕の楽しさを体験しつつ安全を守れる場所の確保が重要」とのコメントをいただきました。



生物同定の様子



集合写真